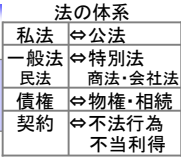


【5】経営法務



1. 民法その他の知識

1.2) 総則

私法の三大原則

- 所有権絶対
- 契約自由
- 過失責任

権利と能力

私権

- 一請求権・抗弁権
- 私権の制限
- 意思能力
- 行為能力
- 意思表示

意思表示

意思の欠缺

- 心裡留保
- 虚偽表示
- 錯誤
- 詐欺
- 脅迫
- 瑕疵ある意思表示
- 善意第三者は保護
- 取消LOK

3) 債権・契約

意思表示の有効要件

- 無効・取消
- 無効・取消
- 無効・取消
- 無効・取消
- 無効・取消
- 無効・取消
- 無効・取消
- 無効・取消
- 無効・取消
- 無効・取消
- 無効・取消
- 無効・取消

2. 会社法等に関する知識

1) 事業の開始 2) 会社法基礎知識

事業の開始

- 個人・法人
- 各種届出
- 労働保険
- 社会保険
- 商号

出資者責任

- 無限責任
- 有限責任
- 直接責任
- 間接責任

3) 株式会社

まとめ① 企業成長と設置する機関

- 取締役会設置
- 代表取締役
- 監査役設置
- 監査役
- 会計監査人
- 委員会

まとめ② 保存と総覧

- 株主総会議事録
- 取締役会議事録
- 計算書類等
- 本店
- 支店

4) 持分会社

持分会社と社員の責任

持分会社	法人格○	法人格×
無限	合名会社	民法組合
無限+有限	合資会社	匿名組合
有限	合同会社	有限責任事業組合LLP

投資事業有限責任組合→無+有
中小企業等協同組合→法人格○

レジュメヨコ對比

6) その他会社法に関する知識

株式⇔持分会社の組織変更手続

- ① 組織変更計画
- ② 総株主の承認
- ③ 債権者保護手続

債権者保護手続

持分会社	株式交換	株式移転	株式分割	株式吸収	株式新設	株式分割	株式吸収	株式新設
株式交換	○	○	○	○	○	○	○	○
株式移転	×	×	×	×	×	×	×	×
株式分割	○	○	○	○	○	○	○	○
株式吸収	○	○	○	○	○	○	○	○
株式新設	○	○	○	○	○	○	○	○

5) 組織再編

持分会社絡みの再編

持分会社	株式交換	株式移転	株式分割	株式吸収	株式新設
株式交換	○	○	○	○	○
株式移転	×	×	×	×	×
株式分割	○	○	○	○	○
株式吸収	○	○	○	○	○
株式新設	○	○	○	○	○

合併

合併	株式交換	株式移転	株式分割	株式吸収	株式新設
株式交換	○	○	○	○	○
株式移転	×	×	×	×	×
株式分割	○	○	○	○	○
株式吸収	○	○	○	○	○
株式新設	○	○	○	○	○

★ 契約→債権債務の発生

契約	双務	有償	要物	諾成
売買	○	○	○	○
贈与	○	×	○	○
交換	○	○	○	○
消費貸借	○	○	○	○
使用貸借	○	○	○	○
質貸借	○	○	○	○
雇用	○	○	○	○
請負	○	○	○	○
委任	○	○	○	○
寄託	○	○	○	○

★ 債務の不履行

債務不履行の種類

- 遅滞・不能・不完全
- 正当な理由なしに債務者に帰する理由で債務を履行しない
- 強制履行
- 危険負担
- 原則・債務者
- 特定物・債権者
- 債権者代理権
- 詐害行為取消権
- 損害賠償請求
- 契約解除

★ 株式会社の種類と機関

種類	種類	種類	種類	種類
定数	普通決議	特別決議	特別決議	特別決議
必要得票数	○	△	×	×
決議事項	○	△	×	×
株主総会	○	△	×	×
取締役会	○	△	×	×
監査役	○	△	×	×
監査役設置会社	○	△	×	×
監査役設置会社	○	△	×	×
会計監査人設置会社	○	△	×	×
会計監査人設置会社	○	△	×	×
会計参与設置会社	○	△	×	×

9) 組織再編と手続

合併

株式移転・交換

株式分割

株式吸収

株式新設

4) 物権

物権(⇔債権)

物権法定主義

直接的・排他的物権 vs 物権

物権 vs 債権

物権の種類

- 所有権
- 制限物権
- 占有権

所有権

物を全面的に支配

用益物権

担保物件

法定(留置・先取)

約定(賃・抵当)

占有権

占有者に一定の権利

★ 設立

募集株式の発行

自己株式

計算

役員等の責任

債権者保護手続

事業譲渡

会社分割

合併

株式移転・交換

5) 相続

相続

包括承継

相続・合併・遺留分

6) 商行為

商行為

類型

民法	商行為
債権消滅	10年
時効	5年
瑕疵担保	1年
責任	6月

3. 資本市場に関する知識

Table with 2 columns: 株式上場 (Public Listing) and 金融商品取引所 (Financial Instruments Exchange). It details requirements for listing on the First Section (東証一部) and Second Section (東証二部) of the Tokyo Stock Exchange, including criteria for capitalization, liquidity, and public float.

マザーズだけ
ぎっちり

りし上流
株取監

5. 知的財産権等に関する知識

Table detailing Intellectual Property Rights (IPR) including Patents (特許権), Utility Models (実用新案権), Trademarks (商標権), and Copyrights (著作権). It covers application procedures, examination processes, and enforcement measures.

無審査+
評価書
イメージ

ケース問題の難しさ
①根拠法が横断的
②簡単・難しい問題が混在
→過去問使ってココ比較トレ

出所表示
品質保証
宣伝広告

新規性喪失の例外
6月以内届出
30日以内書類提出

出願
方式審査
出願公開
審査請求
実体審査
査定・登録

事例で
パターン化

産業財産権以外

Table detailing Non-Industrial Property Rights including Copyrights (著作権), Personality Rights (人格権), and Right of Publicity (公表権). It discusses the scope of protection and enforcement.

二次的著作物
編集著作物
データベース
共同著作物

不正競争防止法

Table detailing the Unfair Competition Prevention Act (UCL), covering acts like false advertising, trade secret misappropriation, and domain name disputes.

4. 倒産等に関する知識

Table detailing Bankruptcy Law (倒産法), including procedures for liquidation (清算型) and reconstruction (再生型), and the role of the court-appointed administrator (破産管財人).

6. その他経営法務に関する知識

Table detailing other business law topics including Unfair Competition (景表法), Consumer Protection (PL法), Consumer Protection Legislation (消費者保護法制), and International Trade (国際取引).

【6】経営情報システム

1. 基礎的知識

1) ハードウェア

5大装置

- 演算制御
- 記憶入力出力
- ワイヤードロジック (intel)
- マイクロプログラム (メインフレーム)
- ECCメモリ

名称・特徴
接続数 (カスケード)接続
デジシチェーン接続

インターフェース

- シリアル: RS-232C, IEEE1394, シリアルATA
- パラレル: SCSI, セントロニクス IDE, (パラレルATA)
- 無線通信: IrDA, Bluetooth

高速化技術など

OPU	MIPS FLOPS	パイプライン制御
SRAM	内部記憶 (揮発性)	マルチプロセッサ デュアルコアCPU
DRAM	メモリアンタリーブ	コンデンサ・電荷リフレッシュ
DRAM	バンク	
HDD	外部記憶	デフラグメンテーション・ガーベジコレ
ROM	(不揮発)	仮想記憶 (スワッピング/スラッシング)

RAMの種類

種類	アクセス速度	遅い	早い
DRAM	遅い	×	×
SRAM	早い	×	×
ROMの種類	書き込み	上書き	消去
マスクROM	×	×	×
PROM	×	×	×
EPROM	×	×	×
EEPROM	×	×	×

DRAM高速化

- SDRAM
- クロック同期
- DDRSDRAM
- より緻密に同期

ページアウト

- FIFO
- LRU

用語レベル + やり難化

近年連続出題 易

インターネットコンポ

2) ソフトウェア

体系

- OS: Win, Mac, Unix, Linux
- ミドルウェア: DBMS, CASEツール, EAI・異種システム連携, アプリケーション, オーサリングツール
- DBMS: CASEツール, EAI・異種システム連携, アプリケーション, オーサリングツール

OSの機能

- ジョブ管理 (ヒト目線) → 実行制御
- タスク管理 (PC目線) → CPU資源有効活用
- マルチタスク (マルチプログラミング)
- デイスパッチング
- 入出力管理
- BIOS・スプーリング
- 記憶管理 → 記憶容量の提供制御
- 主記憶割付・仮想記憶

ファイル

- 項目 (フィールド)
- レコード
- ファイル
- システム/ユーザー
- マスタ/ランザクション
- テキスト/バイナリ
- 固定長/可変長
- △順編成ファイル

文字コード

- 1byte=8bit
- 1KB=1,024byte
- ASCII(7bit)
- JISコード(16bit)
- Unicode(16bit)
- EUC
- EBCDIC

データ形式

- 静止画像 JPEG
- 動画像 MPEG
- 音声 MP3
- CSV
- PDF
- ストリーミング
- アーカイブ

シェアウェア

- フリーウェア
- 金銭的・著作権・PDS

優先度

- ラウンドロビン

この辺再チェック!

3) データベース

関係DB

- 階層
- ネットワーク
- 関係 (リレーション)
- 集合演算
- 和集合・差集合・積集合
- 射影・選択・結合

DB構築・正規化

- DB構築の3手順
- 選ぶ・作る・見せる
- 正規化
- 非正規形
- 第1正規形
- 第2正規形
- 第3正規形
- 正規化の問題点
- 計算で求める項目は削除

DB言語・SQL

- DDL 定義
- DML 操作
- SQL文
- 関係演算子
- SELECT, FROM, WHERE
- GROUP BY
- ORDER BY
- DISTINCT
- HAVING
- SQL文お約束

DBMS

- 特徴
- データ共有
- 独立
- 冗長性の排除
- 機能① トランザクション管理
- 機能② 同時実行制御機能 (排他制御機能)
- 機能③ 障害復旧
- 機能④ セキュリティ

管理

- バックアップ
- フル・差分・増分
- 取得と復旧トレードオフ
- ログ管理
- 障害の回復
- ハードウェア障害
- PGM異常終了
- ロールフォワード
- ロールバック
- バックアップ
- 更新後ログ
- 更新前ログ

分析

- DWH
- 時系列
- 不変・更新されない
- データマート・ODS
- データマイニング
- 発見型
- OLAP
- 仮説検証型
- ニューラルネットワーク
- 遺伝的アルゴリズム
- ドリップアップ/ダウン
- スライス・ダイス

基本的出題とその周辺論点 易

4) ネットワーク

通信サービス

- アナログ⇄デジタル
- 回線接続⇄パケット接続
- ADSL
- CATV
- ISDN
- VPN
- FTTH
- DSU, TA

無線LAN

- IEEE802.11 b/g/a
- 11h-i
- CSMA/CA
- 空いている隙に送信
- アドホックモード
- インフラストラクチャ
- ローミング

LAN・通信方式

方式	対線	光ファイバ
イーサネット	より対線	リング
トークリング	より対線	リング
FDDI	より対線	リング

制御方式

- CSMA/CD
- トークンパッシング
- トークンパッシング

通信速度

- 10M, 100M, 1G
- 4M, 16Mbps
- 100Mbps

空欄補充 → ABランク

5) インターネット (プロトコル)

IPアドレス

- IPv4 (24億個)
- IPv6 (∞)
- 32ビット
- 128ビット
- 10進法
- 16進法
- グローバル
- プライベートIP
- IPアドレス
- アドレス
- ICANN
- DNS
- DHCP
- IP電話
- VoIP

WWW

- HTTPプロトコル
- Webブラウザ
- Webサーバ

必ず出る + 未出題論点

6) セキュリティ (アクセスコントロール + 暗号化)

識別・認証

- ID・パスワード + 持ち物・知識・本人特有
- ワンタイムパスワード
- コールドバック
- RADIUS
- シングルサインオン
- 電子署名 (公開鍵)
- バイオメトリクス
- SAML → PW保持 (Security Assertion)

アクセスコントロール

- ユーザーレベル
- × アクセスレベル
- ホスティングサービス
- ソーシャルエンジニアリング
- EIM
- 公開鍵方式により
- ① 作成者本人
- ② 改ざんなし
- 用語と手順

暗号化

- 共通鍵暗号方式
- 送受信者が同一鍵保有
- DES・FEAL
- 公開鍵暗号方式
- 受信者の暗号鍵 + 複合鍵
- RSA・アルゴリズム
- 認証局 (Certificate Authority)
- セッション鍵
- SSL通信
- https:// 公開鍵の正しさ
- 手順: 公開鍵 → 秘密鍵
- ハッシュ関数

ルータ・プロキシ

- 3論点 + 追加論点

7) システム構成技術

<形態>

- 処理形態・構成技術
- いつ・どこで
- バッチ処理 ⇄ OLTP
- 集中処理 ⇄ 分散処理
- リアルタイム制御 (工作機械)
- クライアントサーバ
- 2層アーキの問題点
- 3層アーキの特徴

<評価>

- 性能評価
- 信頼度評価
- MIPS
- スループット
- レスポンスタイム
- ターンアラウンドタイム
- RASIS
- Reliability
- Availability
- Serviceability
- Integrity
- Security
- 稼働率
- MTBF
- MTBF+MTTR
- 稼働率の計算問題

高信頼性sysの指針

故障・障害への姿勢

- フォールトトレランス
- フェイルセーフ
- フェイルソフト
- ⇒ フォールトアポイダンス
- フルブールフ
- バスタブ曲線
- ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
- ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
- ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
- ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

障害対策

- UPS
- RAID
- RAID0 ストライピング
- RAID1 ミラーリング
- デュプレキシング
- RAID2~5
- デュプレックスシステム
- デュアルシステム
- クラスタリング
- コールド⇒ホットスタンバイ

10) OSI基本参照モデル

層	機能	プロトコル
アプリケーション層	サービス提供	HTTP, FTP, SMTP, IMAP, POP3, MIME
プレゼンテーション層	データ変換	Telnet
セッション層	データ交換	OTOP
トランスポート層	届ける・受領印	ポート番号
ネットワーク層	アドレス確認	ICMP補充 → ping
データリンク層	通信経路確保	OIP
物理層	電氣的に伝送	IPアドレス

接続機器

- LANカード
- MACアドレス
- ハブ
- リピータ
- スイッチング

直接出題は減少傾向

17) TCP/IP

コネクション

- HTTP
- FTP
- SMTP
- IMAP
- POP3
- MIME

コネクションレス

- DNS
- DHCP
- SMTPTS
- IMAPS
- POP3S
- S/MIME
- SSH

暗号化

- HTTPS
- FTPS
- SMTPTS
- IMAPS
- POP before SMTP
- POP before IMAP
- SETカード決済

認証

- SMTP-AUTH
- POP before SMTP
- POP before IMAP
- IPsec
- IPV6標準

必ず出る + 未出題論点

19) ファイアウォール (Web上の対策)

ルータ

- パケットフィルタリング
- ACL・やり取り制限
- NAT・IPマスカレード
- IP不正使用防止
- ルーティング
- 経路設定

プロキシ

- アクセスログ
- 記録
- キャッシュ
- 高速化
- URL制限
- 見せない

IDS

- NW型・ホスト型
- 監視
- ペネトレーション
- テスト
- DMZ

無線LAN

- SSID
- アクセスポイント認識
- MACアドレスフィルタリング
- 接続相手を認識
- WEP・WPA

21) システム構成技術

故障・障害への姿勢

- フォールトトレランス
- フェイルセーフ
- フェイルソフト
- ⇒ フォールトアポイダンス
- フルブールフ
- バスタブ曲線
- ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
- ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
- ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
- ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

障害対策

- UPS
- RAID
- RAID0 ストライピング
- RAID1 ミラーリング
- デュプレキシング
- RAID2~5
- デュプレックスシステム
- デュアルシステム
- クラスタリング
- コールド⇒ホットスタンバイ

【7】中小企業経営

18 総務省 事業所・企業統計調査 2年おき 事業所・企業数・開廃業率 中小企業基本法基準
 4 経産省 工業統計表 毎年 出荷・設投・付加額 従業員300人未満
 経産省 商業統計表 1年おき 事業所・従業者数・販売額 従業員100人未満
 財務省 法人企業統計年報 毎年 売上・付加価値・財務指標 中小企業基本法基準

10/4/30 21時34分

1. 概論

助成金申請に有利 (18)

91から開・廃の逆転現象のみ開>廃

★中小企業による定義(定量)

業種	資本金	従業者	小規模	事業所数	従業者数	開業率	廃業率
製造業他	3億円	300人	20人	③	①	6.4	6.5
卸売業	1億円	100人	5人	④	④	③	②
小売業	500万円	50人	①	③	②	①	③
サービス業	500万円	100人	②	②	①	③	③

出荷額は05年から大>中小
従業者数の減少続く
1人あたり売上の減

★位置づけ・業種構造

業種	企業数	事業所数	従業者数	販売額	1人あたり
中小企業	430万99.7	560万99.1	2700万70	ブナ人間	ブナ人間
卸売業	99	99	84	66	71
小売業	99	99	79	66	66
製造業	48	37	37	53	10

設投は低いが付加価値高い (2)

△定性分類

分類	特徴
所有と経営	資金調達 事業活動 存立分野 経営者・従業員 役割大
△定性分類	非分離 企業性基準 独立性基準 成長性基準
△類型化	非公開性 地域性 特徴的
財務状況	△全般的に苦しい ○当座比率 ○付加価値率 サ>製>建>卸>小売
△強み・弱み	○迅速な意思決定 意思疎通 ×経営資源の質・量が不十分
期待される役割	市場競争 イノベーション 就業機会 地域発展

2. 動向

一般常識と異なる統計の動きに注意 知らないとなげけない。

つまり、外生的ショックや経済構想変化により中小企業の利益率低下・倒産増加が発生

日本経済の動向

- サブプライム 輸出減 株価下落
- 1 原油 9割・6割
- 1 建築着工件数 △37%

中小企業の景気動向

- 3 利益率 格差2.1%→4.3%(6年平均3.6%)
- 1 業績判断DI
- 2 資金繰り
- 2 業績悪化→弱含み
- 2 設投減速→貸出残高!

構造変化

- 消費の伸び悩み 賞金!
- 3 非正規雇用!
- 2 海外との競合 業種別 洋服木製タン 価格!
- 公共事業減 建設業倒産増加+30%
- 格差 地域差・業種差 自営業⇄会社員

生産誘発係数

係数	内容
中小	民間消費
大	民間固定資本輸出

雇用

- 失業率低下→足踏み
- 3 小規模事業所→新規求人減

生産性向上への期待

利益確保できる 事業基盤強化必要

3. 生産性向上

つまり、労働生産性が低いまま労働投入量が減。生産性高める工夫による、従業員重視・人的資本蓄積策がベター。

1) 構造変化と生産性

構造変化

- 5 人口減・少子高齢化 需要側 国内市場! 供給側 GDP!
- 6 労働生産性 低い →米国の7割, G7最下位 伸び率鈍化4.2→2%台
- 6 生産性の向上

付加価値 ↑ 労働投入量 ↓

製造・情報通信・卸(外需・付加価値型)
小売・飲食宿泊・他サ(内需・消費型)

2) 取組と生産性

IT活用

- 海外販売 直接輸出
- 製品・サ差別化 研究開発
- 業務の機械化 業務委託・外注
- 外部専門性 終身雇用の再評価

動続年数 ↑ スキル ↑ 社内ノウハウ ↑ 労働生産性 ↑

3) IT活用

普及・活用状況

- △市場への普及 インターネット9割 ネットショッピング5割 △後ろ向きインパクト ○市場開拓チャンス
- 中小企業での活用 ソフトウェア蓄積 大(0.7-1.0)>中小(0.2) HP開設は低水準

活用効果

- 学習面 業務面
- 成功要因 経営者が積極的 段階的導入
- 投資判断基準 費用 必要重分析 投資目的
- 課題 ○ハードウェア支出 △ソフトウェア支出 △サービス関連支出

業績面 顧客面

- ×失敗要因 IT人材不足 IT活用スキル不足 システム化先行
- 投資判断の課題 △事後検証率50% ボトルネック IT人材不足 初期投資コスト IT活用意識の低さ

9 SaaS, ASPガイドライン

4. 活性化

1) 中小企業事業再生・小規模企業活性化

景況感 12 倒産動向

- △機械関連 △機械以外 △非製造業 ○関東中部近畿
- 01→06減→07増 △建設業 宮崎・長崎↑5割 倒産件数比率 大都市>地方

倒産・再生支援

- 法的倒産 ↓ 銀行取引停止! △小売業・建設業 △小規模事業者 中小企業再生 支援協議会 相談14,000 (製造業・本人) 計画完了1,700 (製造業・金融機関)

★開・廃業率

開業率	開業	廃業
総務省 5年おき調査 6.4	6.5	6.5
法務省 国税庁統計 土法登記数	3.7	>
厚労省 雇用保険届出	4.4	>
タウンページ 小規模・個人事業者数	4.5	7.0

★地域経済活性化

- 小規模企業数 ↓ 大企業(非正規増加) 中小(正規雇用)

2) 中小企業金融の機能強化

地域金融の現状・動向

平均都銀	地域
中小向け ↓	8.4 8.4 8-9
不良比率 ↓	2.5 1.5 4-4.5

調達 小(>20人)→借入5割 中小6割→県内メイン 金→地域内割合

調達 拒絶率 ↓ 低下・横ばい(改善) エクイティファイナンス 自己資本→同族7割 擬似資本→あり5割

貸出 回復増加→弱含み 預貸率 ↓

調達多様化

- 地域密着金融 創業・新事業支援 経営相談・支援 スコアリングモデル シンジケートローン 担保提供への依存 保証提供8割 半分が担・保付→7割

開示・ガバナンス 情報開示負担

ステークホルダー 代表者中心 →株主中心

2) 経済のサービス化

第3次産業 7割・7割

取組と生産性

事業所向け	消費者向け
○情報通信 △運輸 卸 他サービス	△小売 △飲食宿泊 △不動産 医療福祉 教育サービス

付加価値向上 ★取引環境改善 効率改善

顧客評価UP 他社との差別化

- 値上げ難 市場価格重視 価格反映・業種差なし 市場環境(価格競争・景気低迷・需要減) 引き上げ策 説明強化(小売・他サ) 契約内容透明化(不) 実績づくり(飲宿)
- 契約書面化 マニュアル 公正な取引
- 業務の標準化 業務プロセス見直し IT・電子商取引

4) グローバル化

世界のGDP5.4%↑ アジア8.8, 日本2.4

輸出 比率

- ★日本 02→07年60%増 アジア30%
- 中小 中小企業性製品 ↑ 売上高輸出比率 ↑
- 輸出 比率 ○製造業・卸売業 △非製造業(情・サ) サービス輸出

生産性

- 従業員規模 ○輸出企業 ○特注品
- 海外製品との競争 為替変動 販売パートナー

課題

- 海外展開 海外直接投資
- マネジメント人材 賃金コスト ↑ 品質管理の困難

旅行収支 その他賞利 特許料収入

3) 連携・ネットワーク

現状と課題

★ 組合・新連携

- 組合 ニーズ→組合数維持 サービス業・異業種組合 ↑ 製造・小売 ↓ 新連携支援→6割事業化

産学官連携

- 実績 33,000件(中小2割) 中一連携5.2%(製造1割) 大学→中小9割

農林水産資源

- 構成比・ウェイト 地域資源10,000→3割 地域団体商標→5割
- 問題点 連携の重要性 →農商工連携 連携の仲介者

商店街・NPO

- 124万事業所 133兆円
- 小規模小売業 年間販売額→2/3 (88→04) 事業所数→2/3
- コミュニティビジネス NPO34,000

つまり、中における低生産性・人的資本蓄積遅れが課題。改善策あり

